

# アートプロデュース学科

## 教育目標（育成する人材像）

生きていくために必須である「みる、考える、話す、聴く」能力を意識的かつ総合的に活用することで、創造力、人間力、そしてセルフ・エデュケーション力を兼ね備えた、アートと人／社会をつなぐことのできる人材を育てる。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

### 修得する能力

探求力	体験や観察をととして十分な知識を吸収し、問題点を鋭敏に見抜くことができる 【「みる」】
思考力	疑問や批判をととして問題点を能動的に整理・分析・理解できる 【「考える」】
発想・構想力	問題点を柔軟に考察し、新たな価値の発見に結びつけることができる 【「みる」「考える」】
表現力	発見した新たな価値を他者に的確に伝達できる 【「話す」「聴く」】
行動力	しっかりとした見通しをもって、問題の解決を目指すことができる 【「みる」「考える」「話す」「聴く」】
継続力	セルフ・エデュケーションに取り組み、積極的に行動をより高めていくことができる 【「みる」「考える」「話す」「聴く」】
コミュニケーション力	他者とともに新しい価値の創造をおこなうことができる 【「みる」「考える」「話す」「聴く」】

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- 1年次では、《コミュニケーション》や《コミュニティ》についての実践的な科目を中心として、コミュニケーション力、行動力を養います。また、《フィロソフィ》科目では主に美術史を中心に歴史的背景を学ぶことで探求力や思考力を習得します。《キャリア》科目で英語やコンピューターなど基本的なスキルもあわせて身につけることで、4年間の学習および協働のための基礎的な力を養います。
- 2年次では、《コミュニケーション》や《コミュニティ》の理論面も学ぶことで1年次の学習の理解を深めます。同時に、美学や現代思想《フィロソフィ》といった現代から未来に向けての視点を学び、発想・構想力を修練します。これらを活かして展覧会の企画・運営といった応用実践や、プレゼミ《アクティビティ&クリエイション》での研究活動を行うことで、7つの能力を総合的に磨きます。
- 3年次では、《キャリア》科目で業界研究や調査を行うことで進路を具体的に考えていくとともに、これらを学術的研究としてまとめていきます。また、ゼミに所属し2年間の継続研究と論文執筆を行なうことで、言語での表現力や論理的思考力、専門知識の統合力を滋養します。
- 4年次では、ゼミを中心として、これまでの学習を統合して卒業論文を執筆、発表を行ないます。専門的知識と実践力を備えた、アートと人／社会をつなぐプロフェッショナルへと育成します。